



雨が多い時期だからこそ、読書のすすめ

副校長

木々の若葉がみずみずしく、日差しも強く感じられる季節となりました。梅雨入りを前に初夏を思わせる日差しの中、子どもたちは元気に運動会に向けて練習を行っています。

今年度も木曜日の朝に「六つ西かがやき☆レンジャーズ」の図書レンジャーズの方が、子どもたちに本の読み聞かせをしてくださっています。どの学級でも、真剣に本の読み聞かせを聞いている姿を見て、「とても良い活動だな」と思いました。

また、令和5年度の本校の全国学力・学習状況調査の結果の中で、「読書は好きですか。」「一日あたり、どれくらいの時間読書しますか。」等の質問では、全国・県の平均を下回っていました。このことから読書を通じた他領域の知識の習得や感性、想像力を膨らませることができた。6月になると梅雨入りし、外で遊べない日が多くなります。雨が続くこの時期は、ゆっくりと「読書」に取り組んでみてはいかがでしょうか。

私は高校生の時に
「読書は人生を豊かにする良い習慣である」
この言葉に出会いました。

本は生きているうちには到底、経験できないことを教えてくれるような気がします。
これまで、多くの本と出会いましたが、不思議

なこと、何か悩みがあるとその解決になるような本が、目に飛び込んでくるようになりました。手に取った本の中にたった一行でも、今の自分の心境にピッタリとくるものがあれば、その本は読む価値のある本だと、私は思っています。私は高校時代に出あった本によって、今の教師という仕事を選ぶことになりました。本にはとても感謝しています。これからも多くの子どもたちに、読書の大切さを伝えていきたいと思っています。

「私が担任していたときに、子どもたちに伝えていた読書のよさ」

- ① 集中力がつく。
(気持ちを整えることができる)
- ② 語彙力がつき、知識が増える。
(読解力がつく)
- ③ 豊かな感性や情操、思いやりの心を育むことができる。
(様々な価値観に触れることができる)
- ④ 自分の興味のあるもの、得意なものに気づき、そのことを伸ばすことができる。

六つ川西小学校には、整備された図書館があります。ぜひ活用してほしいと思います。



2023年に全国学校図書館協議会がまとめたデータによると、小学生が5月のひと月に読んだ本の冊数の平均は12.6冊だそうです。ひと月で12冊も！？と驚きましたか？六つ川西小学校のここひと月の貸出状況を調べたところ、12人が全国平均冊数を上回っていることがわかりました。しかも、そのうち3人は20冊超えです。学校の本だけが読書の対象ではありませんが、皆さんもたくさん本を借りにきてくださいね。